

インターベリー-α[®]を忘れずに投与するために

🍓 獣医師から指示された投与日、投与期間を守り、投与がすんだら下の欄にチェックしましょう。

🍓 投与予定日

| | | | | | | | | | | | |
|-----|--------------------------|---|--------------------------|---|-----|------|--------------------------|---|--------------------------|---|-----|
| 第1回 | <input type="checkbox"/> | 月 | <input type="checkbox"/> | 日 | () | 第6回 | <input type="checkbox"/> | 月 | <input type="checkbox"/> | 日 | () |
| 第2回 | <input type="checkbox"/> | 月 | <input type="checkbox"/> | 日 | () | 第7回 | <input type="checkbox"/> | 月 | <input type="checkbox"/> | 日 | () |
| 第3回 | <input type="checkbox"/> | 月 | <input type="checkbox"/> | 日 | () | 第8回 | <input type="checkbox"/> | 月 | <input type="checkbox"/> | 日 | () |
| 第4回 | <input type="checkbox"/> | 月 | <input type="checkbox"/> | 日 | () | 第9回 | <input type="checkbox"/> | 月 | <input type="checkbox"/> | 日 | () |
| 第5回 | <input type="checkbox"/> | 月 | <input type="checkbox"/> | 日 | () | 第10回 | <input type="checkbox"/> | 月 | <input type="checkbox"/> | 日 | () |

- 歯周病を防ぐには、日常の歯磨きが大切です。インターベリー-α[®]を投与しているときも、歯磨きを習慣づけるように努めましょう。
- インターベリー-α[®]を投与する前や、投与後のワンちゃんの歯肉(はぐき)の状態をデジタルカメラ、あるいはスマートフォンのカメラで撮影し比較することで、歯肉炎の改善の状況が確認しやすくなります。

投与に当たっての注意

● お薬は合計10回(通常は5週間)投与しますが、投与日、投与間隔は獣医師の指示に従ってください。● ワンちゃんの体重や大きさによって、お薬の投与量を変える必要はありません。● 投与前には歯磨きをすることをおすすめします。● 歯肉(はぐき)に出血している部分がある場合は、痛がるのでその部分は避けて投与してください。● 投与に慣れない間は、ワンちゃんに咬まれないように注意してください。● お薬を投与した後は、歯肉(はぐき)にしばらく留まるよう、約30分は食事や水を与えないようにしてください。● お薬は湿気に弱いので、投与直前まで水に濡らさず、冷蔵庫などの冷暗所に保管してください。

病院名

物産アニマルヘルス株式会社 <https://www.bussan-ah.com>

動物用医薬品

生涯にわたって愛犬の歯の健康を守る



インターベリー-α[®]の特長と投与方法がひと目でわかる 使い方ガイド



専用の計量スプーン付き

bah 物産アニマルヘルス

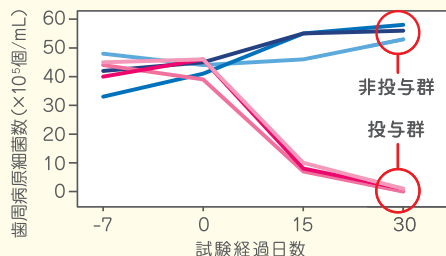
動物用医薬品 インターベリー-α[®]

インターベリー-α[®]は、国内の医薬品を製造する最先端の植物工場で作られた、ワンちゃんの歯肉炎を改善する、まったく新しい動物用医薬品です。

インターベリー-α[®]の5つの特長

- イチゴを原料とした、世界初のイヌインターフェロンα製剤です。
- イヌインターフェロンαが口の中の免疫バランスを改善し、歯周病の原因となる細菌数を減少させます。
- 歯周病の初期症状の一つである歯肉炎の症状を長期間改善します。
- イチゴ風味で甘く歯肉への投与がしやすくなっています。
- 6ヶ月から高齢犬まで使用でき、スクレーピングの仕上げにも最適です。

インターベリー-α[®]は歯周病原細菌を減少させます！

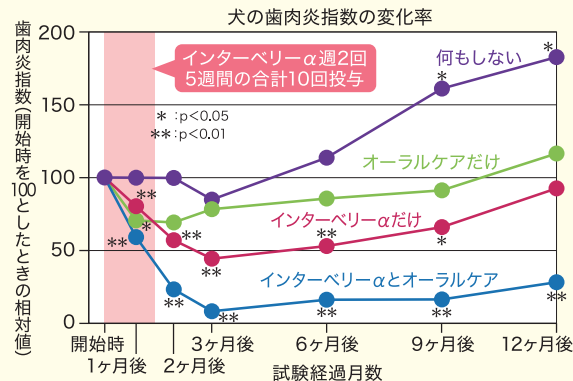


(資料:ホクサン株式会社 インターベリー-α臨床試験より)



インターベリー-α[®]の投与により、ワンちゃんの歯肉炎症状(腫れや赤み)が軽減されました。

インターベリー-α[®]の歯肉炎の軽減及び持続について



試験方法

歯肉炎発症犬を4群に分け、それぞれインターベリー-α+オーラルケア群、インターベリー-α群、オーラルケア群及び無処置群に分けて試験開始時、試験開始3ヶ月後、6ヶ月後、9ヶ月後及び12ヶ月後の歯肉炎指数を測定した。

Yamaki, S. et al. Long-term Follow-up Study after the Administration of Canine Interferon-α Preparation for Gingivitis in Dogs. J. Jpn. Vet. Med. Assoc.(2017)70, 589~593(データを一部再解析)

インターベリー-α[®]の単独投与で9ヶ月間、オーラルケア併用で12ヶ月間効果が認められました。効果の発現はゆっくりです。投与開始1ヶ月後から改善がみられ、3ヶ月後に最大の効果を示しました。

インターベリー-α[®]の投与のしかた



1回分をお皿に取ります。
※付属のスプーンのスリ切り1杯が1回分になります。 ※病院で分包される場合もあります。

指先又は綿棒などを水道水で濡らしてから、本剤をよく混ぜペースト状にします。

上下左右の歯肉に指又は綿棒などで、直接マッサージするように数回塗り込みます。

3~4日に1回の間隔で合計10回歯肉(はぐき)に塗り込むことで、歯肉炎の症状を長期間改善します。

インターベリー-α[®]の製品サイトはこちら

<https://interberry.jp>

